

平成27年7月18日

TATEYAMASABO

PRESS RELEASE

本紙投げ込みを以て解禁

記者発表資料
富山県政記者クラブ
業界紙(実業建設新報社
ケーブルテレビNET3)

～良質な社会資本整備を目指して～ 平成26年度に完成した 優良工事等事務所長表彰式について

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局立山砂防事務所所管の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

つきましては、平成26年度完成の優良工事等について選定し、下記のとおり表彰式を実施しますのでお知らせします。

また、7月17日に行われました優良工事等の局長表彰の披露も行います。

日 時 : 平成27年7月21日(火) 11時00分～12時00分
場 所 : 国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所2階会議室
次 第 : 別紙のとおり

○事務所長表彰

1. 優良工事
辻建設株式会社 「H26 滝谷第1号砂防堰堤及び工事用道路工事」
2. 優良建設技術者(工事)
辻建設株式会社 「佐伯 勉(監理技術者、現場代理人)」
3. 優良委託業務
八千代エンジニアリング株式会社 北陸支店 「平成26年度鬼ヶ城砂防堰堤改築計画検討業務」
4. 優良建設技術者(委託業務)
八千代エンジニアリング株式会社 北陸支店 「池田 誠(管理技術者)」

○局長表彰披露

1. 優良工事
砺波工業株式会社 「H26 天鳥砂防堰堤補強工事」
2. 優良建設技術者(工事)
砺波工業株式会社 「島田 昌明(監理技術者、現場代理人)」
3. 優良委託業務
株式会社建設技術研究所 北陸支社 「平成26年度金山谷上流砂防堰堤詳細設計業務」
4. 優良建設技術者(委託業務)
株式会社建設技術研究所 北陸支社 「金野 崇史(管理技術者)」

お 問 い 合 わ せ 先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
副所長(技術) 福田 光生
総括保全対策官 久保 昌之
電話 076-482-1111 (代表)
FAX 076-482-1101

立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂61番地

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら



国土交通省北陸地方整備局

平成27年度 優良工事等表彰式次第

日 時：平成27年 7月21日（火） 11：00～

場 所：立山砂防事務所 2階会議室

一、開 式

一、優良工事等表彰

一、局長表彰披露

一、事務所長挨拶

一、受賞者代表挨拶

一、閉 式

記念撮影

懇談会

※開式から懇談会終了まで傍聴は可能ですが、撮影は記念撮影までとします。

平成26年度完成 優良工事 [事務所長表彰]			番号	1
受注者	辻建設 株式会社	事務所名	立山砂防事務所	
	代表取締役社長 辻 明信	工期	平成26年3月6日 ～ 平成26年10月31日	
	富山県富山市内幸町6番1号	請負金額	157,032千円	
工事名	H26 滝谷第1号砂防堰堤及び工事用道路工事	工事場所	富山県中新川郡立山町芦峯寺地先 富山県富山市有峰地先	
工事内容	本工事は、常願寺川のカルデラ上流部を流れる湯川左支川の滝谷において、生産土砂抑制及び河床堆積不安定土砂の流出防止を目的とした砂防堰堤、並びに湯川及び滝谷上流部への工事用道路を新設する工事である。 ・砂防土工 1式 ・地盤改良 1式 ・コンクリート堰堤本体工 V＝1,606m3 ・仮設工 1式 ・道路土工 1式 ・法面工 A＝2,290m2 ・舗装工 A＝1,050m2			
選定理由	本工事の施工箇所は、脆弱な崩壊堆積物が多量に堆積し、平均河床勾配が約1/4で少量の降雨でも土石流及び土砂崩壊等の発生が危惧され、かつ、V字谷の非常に狭隘な場所での作業となり、非常に厳しい現場条件であった。あわせて、湯川及び滝谷上流部への工事用道路の新設もある立山カルデラ内での広範囲にわたる工事であり、上山の6月から下山の10月末までの約5ヶ月間と限定された作業期間で、カルデラ内に合宿しながらの工事であった。 このような条件のもとで、砂防堰堤工事の品質管理上、最も重要であるコンクリート工で確実な品質を確保するための創意工夫を行ったほか、適確な施工計画・仮設計画を立案するなど、施工管理全般において非常に優れていた。また、カルデラを訪れる一般者や作業員の家族などを対象とした取り組みも積極的に行うなど、社会的な貢献度も高かった。			



完成写真

平成26年度完成 優良建設技術者(工事) [事務所長表彰]

番号

2

技術者	佐伯 勉 (監理技術者) (現場代理人)	事務所名	立山砂防事務所
		工事名	H26 滝谷第1号砂防堰堤及び工事用道路工事
		工事場所	富山県中新川郡立山町芦峯寺地先 富山県富山市有峰地先
	辻建設 株式会社 富山県富山市内幸町6番1号	工期	平成26年3月6日 ～ 平成26年10月31日
		請負金額	157,032千円
工事内容	本工事は、常願寺川のカルデラ上流部を流れる湯川左支川の滝谷において、生産土砂抑制及び河床堆積不安定土砂の流出防止を目的とした砂防堰堤、並びに湯川及び滝谷上流部への工事用道路を新設する工事である。 ・砂防土工 1式 ・地盤改良 1式 ・コンクリート堰堤本体工 V=1,606m³ ・仮設工 1式 ・道路土工 1式 ・法面工 A=2,290m² ・舗装工 A=1,050m²		
選定理由	本工事は、常願寺川のカルデラ上流部を流れる湯川左支川の滝谷において、生産土砂抑制及び河床堆積不安定土砂の流出防止を目的とした、砂防堰堤並びに湯川及び滝谷上流部への工事用道路を新設する工事である。当該技術者は、急峻で危険が伴う現場条件の上、湯川及び滝谷上流部への工事用道路の新設もある広範囲にわたる工事を約5ヶ月という短い作業期間のなかで、工事の目的及び現場特性を十分に理解し、品質向上や安全対策等に係る創意工夫を積極的に行いながら、工事を遂行した。あわせて、突発的な事態に対しても、適確な判断と高い技術力を持って対処することで、無事故で余裕を持って工事を完成させた。この功績は高く、評価に値する。		

受注者	八千代エンジニアリング株式会社 北陸支店 支店長 光永 修 新潟県新潟市中央区万代1丁目1番地1号	事務所名	立山砂防事務所
		業務名	平成26年度鬼ヶ城砂防堰堤改築計画検討業務
		工期	平成26年5月28日 ～ 平成26年12月26日
		請負金額	12,960千円
選定理由	本業務は、崩壊地直下に位置し、老朽化の著しい鬼ヶ城砂防堰堤について補強対策の予備設計を行うものである。 鬼ヶ城砂防堰堤は、顕著な老朽化、右岸側崩壊地の存在、対象流量が大きいことなど、改築設計に対する課題が多い。また、その規模の大きさより改築に係わる費用、期間も相当かかるものと想定された。 課題解決に向け既往検討結果を踏まえ、今年度実施すべき最も効果的な調査計画等を提案し本検討に反映させることにより適切な検討を行った。 また、検討を行う上で、落石シミュレーション、水理模型実験の解析等新たな手法を用いて検討し、課題解決に取り組んだ。		

平成26年度完成 優良建設技術者(業務) [事務所長表彰]

番号

4

技術者	池田 誠 (管理技術者)	事務所名	立山砂防事務所
		業務名	平成26年度鬼ヶ城砂防堰堤改築計画 検討業務
	八千代エンジニアリング株式会社 北陸支店	工期	平成26年5月28日 ～ 平成26年12月26日
	新潟県新潟市中央区万代1丁目1 番地1号	請負金額	12,960千円
選定理由	本業務は、立山砂防の基幹堰堤(H=25m)であり、崩壊地直下に位置し、老朽化の著しい鬼ヶ城砂防堰堤について補強対策の予備設計を行うものである。 鬼ヶ城砂防堰堤は、老朽化が激しく、安定性も不十分な上、右岸大崩壊地の存在、対象流量が大きいことなど、改築設計に対する課題が多い。また、その規模の大きさより改築に係わる費用、期間も長期間必要と想定された。 改築計画については、課題解決に向け既往検討結果をにとらわれず広い視点での洗い出し、広範な計画を提案した。また、計画を検討するための条件については、既往水理模型実験結果の新たな解析や落石シミュレーション等、新たな視点で絞り込み、合理的に課題解決に取り組んだ。		

受注者	砺波工業株式会社	事務所名	立山砂防事務所
	代表取締役 上田 信和	工期	平成26年 3月25日 ～ 平成26年12月19日
	富山県砺波市中央町3番21号	請負金額	124,362千円
工事名	H26 天鳥砂防堰堤補強工事	工事場所	富山県中新川郡立山町芦峯寺地先
工事内容	【コンクリート堰堤工】 コンクリート副堰堤工 V=109m³ 堤冠保護 A=90m² 水叩工 V=155m³ 水叩き間詰工 V=21m³ 【地盤改良工】 薬液注入 N=86本(V=170,510ℓ) 【構造物撤去工】 コンクリート構造物取壊し V=45m³ 【仮設工】 1式 【応急復旧工】 1式		
選定理由	本工事は老朽化・損傷が著しい天鳥砂防堰堤(昭和53年竣工)の補強工事である。 施工箇所は、常願寺川本川において兩岸斜面が切り立った急峻な溪流地形を形成し、豪雪地域であり6ヶ月程度の限られた期間での施工となるため、出水期中の半川仮締切による施工が余儀なくされる厳しい施工環境である。この厳しい制約の中、現場特性に合わせた安全対策を図るとともに各種技術提案を積極的に行ない良好な出来形・品質を確保し、無事故で工事を完了させた。 また、上流域の運搬道路が被災寸断したことに伴い、当該工事において迅速に応急復旧道路を構築し上流域へのアクセスを確保し事業全体の進捗にも寄与し、環境保全・美化に対する姿勢も顕著であった。		



完成写真

平成26年度完成 優良建設技術者(工事) [局長表彰]

番号

6

技術者	島田 昌明 (監理技術者) (現場代理人)	事務所名	立山砂防事務所
		工事名	H26 天鳥砂防堰堤補強工事
		工事場所	富山県中新川郡立山町芦嶺寺地先
	砺波工業株式会社 富山県砺波市中央町3番21号	工期	平成26年 3月25日 ～ 平成26年12月19日
		請負金額	124, 362千円
工事内容	【コンクリート堰堤工】 コンクリート副堰堤工 V=109m³ 堤冠保護 A=90m² 水叩工 V=155m³ 水叩き間詰工 V=21m³ 【地盤改良工】 薬液注入 N=86本(V=170,510ℓ) 【構造物撤去工】 コンクリート構造物取壊し V=45m³ 【仮設工】 1式 【応急復旧工】 1式		
選定理由	本工事は老朽化・損傷が著しい天鳥砂防堰堤(昭和53年竣工)の補強工事である。 当該技術者は、異常気象による大量出水に迅速な対応が出来る安全対策を講じ、徹底した安全管理の基、工事を無事故・無災害で完成させた。施工にあたっては、工事目的を理解し河川締切特有である上流からの流水処理対策で効果的な提案を行い、地盤改良効果の向上を図る等、創意工夫を行った排水計画によって、品質・出来形を確保し良質な工事を完遂させたその功績は評価に値する。		

受注者	株式会社 建設技術研究所 北陸支社	事務所名	立山砂防事務所
	支社長 大川 重雄	業務名	平成26年度金山谷上流砂防堰堤詳細設計業務
	新潟県新潟市中央区万代4丁目4番27号	工期	平成26年 9月12日 ～ 平成27年 2月27日
		請負金額	23, 241. 6千円
選定理由	本業務は、予備設計で検討された砂防堰堤の基本諸元により、設計図書に基づく設計条件及び詳細設計に必要な測量調査資料、地質調査資料等を確認するとともに、水理模型実験を実施のうえ、土石流の移動実態を踏まえた砂防堰堤の詳細設計を実施するものである。 対象地は、滝状の上流部と扇状地との勾配差が大きく、流路幅も大幅に拡大する特異な地形となっており、複雑な土砂移動現象が想定された。砂防施設機能を十分に発揮させるために複雑な土砂移動現象・堆積状況を水理模型実験によって再現することによって、現象把握と堰堤の機能検証を的確に行った。さらに実験結果を活用した堰堤の機能分類によるコスト縮減策の提案を積極的に行った。 また、検討の実施にあたり、砂防施設設計、水理模型実験に関する広範な知識や蓄積された高度な技術力に基づく提案を行うとともに、職員に分かりやすい資料を作成し所内合意を得るなど適切に対処した。		

平成26年度完成 優良建設技術者(業務) [局長表彰]

番号

8

技術者	金野 崇史 (管理技術者) 株式会社 建設技術研究所 北陸支社 新潟県新潟市中央区万代4丁目4番27号	事務所名	立山砂防事務所
		業務名	平成26年度金山谷上流砂防堰堤詳細設計業務
		工期	平成26年 9月12日 ～ 平成27年 2月27日
		請負金額	23, 241. 6千円
選定理由	本業務は、常願寺川上流に位置する立山カルデラ・湯川の支川における砂防堰堤の設計を実施したものである。 施設の計画位置は、鳶山の崩壊土砂が堆積した台地であり、地質は複雑で、地形も滝状の上流部とダムサイトの扇状地との勾配差が大きく、流路幅も大幅に拡大する特異な地形となっており、複雑な土砂移動現象が想定された。 設計にあたっては、砂防施設機能を十分に発揮させるために、複雑な土砂移動現象・堆積状況を水理模型実験によって再現することによって、現象把握と堰堤の機能検証を的確に行った。さらに実験結果を活用した堰堤の機能分類によるコスト削減策の提案を行い合理的な設計とした。 検討にあたり、地質、砂防施設設計、水理模型実験に及ぶ広範で高度な技術力に基づく提案を行うとともに、職員との現地合同調査も含め職員に理解しやすい資料作成と合意形成に努め、優れた業務成果が得られた。		